南小国町立南小国中学校
令和２年７月22日（水） No14

校長室通信

文責　狭間卓史

「 宝物の経験 」

７月１１日（土）、阿蘇市体育館において卓球の中体連代替大会が開催されました。この大会は三年生のみに出場が認められた大会でした。会場に入れるのも三年生と事前に登録されたそのご家族の方々のみ。本校からは５名の部員が出場しましたが、全員が予選リーグと順位決定リーグを戦い、自分の持てる力を出し切ろうと最善を尽くしていました。結果として、秋好誠梧くんが参加者全体の中での一位。本当におめでとうございました。

そして、１９日（日）にはバレーボールの代替大会も実施されました。本校バレーボール部はご存じのように少人数の部活動ゆえに、この三月までは他の部活動の協力を得ながら各種大会に出場していました。この春、一年生の入部があり６人の部員が揃っての出場でした。人数は揃ったものの臨時休校もあって十分なチーム練習は出来ませんでしたが、佐藤コーチをはじめ、保護者の方々が次々と練習に参加してくださり、精一杯のサポートを受けての大会出場でした。二試合を行い、いずれも善戦し、あと一歩のところまで迫れた大会でした。

代替大会という特別な大会にはなりましたが、この大会を開催するにあたって、たくさんの方々の尽力があったこと、保護者の皆さんの我が子への精一杯の思いが込められての出場であったことを覚えておいて欲しいと願うばかりです。

また、１８日（土）は野球のコスギリゾート旗大会、ソフトテニスの県選手権大会阿蘇郡市予選大会も行われました。野球部は、三年生が出場できる大会をまだ残していますし、ソフトテニス部には三年生が在籍しておらず、これからも現メンバーでの活動を継続していきます。８月２９・３０日（土・日）に大きな大会を控える陸上部、１０月３日（土）に定期演奏会を開催予定の吹奏楽部、そして部員一人のバスケットボール部や社会体育で取り組む水泳（今週末が大会）等、それぞれが活動の節目を迎える日までを、成長の時間として存分に味わってくれることを願っています。勝つ喜びも、負ける悔しさも、そこに至るまでの練習も含めて、その場に身を置くからこそ味わえる経験は将来にわたる何よりの宝となるはずです。



【 一球集中 】



【 気持ちを込めて 】



【 ベンチと共に 】



【 攻める 】



【 仲間の思いを背負って 】